

## 広南学園生活ルーブリックの活用について

(ねらい) これまで広南学園では、「時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める」をめざすこども像とし、中学校では、それを「生徒の心得」の中で示すとともに、その中で共通に取り組む礼節指導、たとえば、「心を込めた深い礼」や「立腰指導」を「広南しぐさ」ということばで子供に伝えることで、意識付けを図ってきた。

しかしながら、児童生徒が自分の状態を見取り、また、教師から、その評価を返すことはしていなかった。このたび、ルーブリックの研究を進める中で、生活の振り返りにおいてもルーブリックを活用し、学期ごとに、児童生徒の自己評価に合わせ、教師の評価を加え、学期を振り返る機会をもつこととした。このルーブリックについては、元警固屋中学校長 芦谷先生がつくられたものをもとに作成した。また、そのことを生徒・保護者・教職員で共有する方法として「5つの合い言葉、3つの約束」を作成した。

今年度は生徒のネット依存の改善に役立てていきたい。

### ◇生徒心得◇

呉市立広南中学校

自立に向かって主体的に生きるとともに社会に貢献できる自分と仲間をつくるため、広南中学校の生徒の一員としての自覚と誇りを持ち、次の4箇条を心に置いて、ルールを守り、みんなが楽しく生活できる学校づくりに貢献することを誓います。

1. 「ノーチャイム」の意味を理解し「時を守る」ことを大切にします。
1. 「清潔」「整理整頓」を心に「場を清める」ことを大切にします。
1. 「礼節と思いやり」の伝統を守り、「礼を正す」ことを大切にします。
1. 校訓「不かく尋ね高く志す」を胸に「学びを求める」ことを大切にします。



広南学園 生活目標「時を守り，場を清め，礼を正し，学びを求める」ルーブリック

年 組 氏名 ( )

	<時を守る人> 時を大切にすることができる	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	授業開始時間の前に授業の準備を終え，授業の予習・復習をしながら待つことができる						
A	授業開始時間には授業の準備を終えて座ることができる						
B	授業開始時間には着席することができる						
C	授業開始時間に時々，遅刻することがある						

	<場を清める人> まわりを美しく整えることができる。	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	学び生活する場所を美しくすることで自分の心も磨かれるので，掃除が苦にならない						
A	担当の場所でなくてもゴミが落ちていたら自分で拾い，環境を整えることができる						
B	そうじ場所を少しでも美しくするために，誠実にそうじに取り組んでいる						
C	そうじの場所に行くが，しかたなくそうじに取り組んでいる						

	<礼を正す人> 相手を大切にする礼節が身についている人	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	時と場に応じた相手を大切にする礼節を身に付けている						
A	礼儀正しくあいさつができ，敬語がきちんと言える						
B	自分から目上の人や友達にあいさつができる						
C	自分から目上の人や友達にあいさつができない						

	<学びを求める> 学び続ける大切を理解し，求め続ける人	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	興味を持ったことには自主的に調べたりすることで学びを深めたりすることができる						
A	誠実な態度で授業に取り組み，学習内容を理解するためによく努力している						
B	先生の指示に従って学習（授業・提出物等）に取り組んでいる						
C	学習道具を整えて授業に取り組むことができない						

広南学園「5つの合言葉・3つの約束」

「時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める」人になろう!!

【5つの合言葉】

- ① 「時間を大切に」子ども
- ② 「周りを美しく整える」子ども
- ③ 「挨拶をする」子ども
- ④ 「話をよく聞く」子ども
- ⑤ 「自分の思いを伝える」子ども

【3つの約束】

- 1 「家庭学習を毎日おこなう」子ども
- 2 「テレビ・ゲーム・SNSなど利用のルールを守る」子ども
- 3 「帰宅時刻を守る」子ども

	前 期					中 期			後 期	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
5つの合言葉	① 時間を大切に	きめられたじかんのまもる	次の準備を考えて時計を見て行動する	時間を守り、時間内にやりきる	先を見通し、計画的に行動する					
	② 周りを美しく整える	つけたものをもとにかえす	使った物を示きれいに返す	必要な物を取り出しやすくする	周辺を分類し、使いやすく整える					
	③ 挨拶をする	じぶんからおおきなこえで	自分から進んで、立ち止まって、相手の顔を見て、大きな声で		時と場に応じて、礼儀正しく					
	④ 話をよく聞く	はなすひとにからだをむけてさいごまで	最後まで聞き、うなずいたりたずねたり	相手と自分の考えを比較しながら	相手を理解し、事実と意見を判断しながら					
	⑤ 自分の思いを伝える	あいてのかおをみながら はっきりと	結論先行、理由を付けて はっきりと	根拠に基づき、明確に	場に応じた内容と表現を豊かに					
3つの約束	1 家庭学習を毎日おこなう	じかんときめて、やりきる	予習・復習の習慣を付ける	予習・復習・自主学習を計画的、発展的に行う	90分以上	120分以上				
	2 テレビ・ゲーム・SNSなど利用のルールを守る	親子で話し合い、ルールを決めて守る	(例) 時間を決める・食事中はしない・9時以降はしない・使わない日を決める 等	【1日2時間以上のSNSの使用は、2時間の学習成果を0にするばかりでなく、脳の発達に悪影響があることが研究機関の調査で明らかになっています。(裏参照)】						
	3 帰宅時刻を守る	夕方17時までには帰宅する(「どこへ、誰と、何をしに」を伝える)		帰宅時刻・行き先等を伝える						



## 「**脳の解析データを**見て**絶句し**、**自分の子どもにスマホを与えたことを後悔しま**した。」

(脳科学者 川島隆太) 『2時間の学習効果が消える！やっつけてはいけない脳の習慣』(青春出版社) 前書きより

テレビやゲーム、あるいはスマホが脳に与える影響について、小中高生7万人のデータを集め、解析するとともに実際に脳にどのような影響を与えるのか医学的に研究している脳科学者がいます。ここでは、その本の中で紹介されている内容の一部を紹介いたします。詳しくは、上に紹介した本に書いてあるので、ぜひ読んでみてください。

(スマホ・LINEを長時間使用していると、) **家庭で平均2時間以上も勉強している子が、ほとんど勉強していない子より成績が悪い**という衝撃的な結果。」(P18)

「LINEを長時間、習慣的に使用することで、**脳の形が変わってしまい、集中力や注意力の低下**につながったと考えられる。」(P40)

「**どんなに長時間勉強してもゲームをしてしまうと、勉強した効果が打ち消されてしまう。**」(P66)

「**ゲームプレイ時間が長い子どもの脳は、脳内の各組織の発達に遅れが見られる。**」(P72)

「テレビを見る時間が長い子どもほど**言語性知能が低く**、3年後の変化量も小さいことから、**その後の言語能力の発達が遅くなってしまう**」(P80)

『二時間の学習効果が消える！やっつけてはいけない脳の習慣 小中高生7万人の実証データによる衝撃レポート』

川島隆太【監修】横田晋務【著】

青春出版社 出版 2016年 発行

注・・・太字、( )は筆者